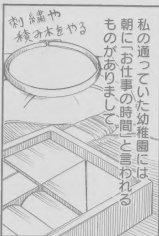
私がちっちゃいときの話

浜田咲良
Sakura Hamada

幼稚園時代
ぜんぜん笑わない
いつも不機嫌な子供でした

私の通っていた幼稚園には朝に「お仕事の時間」と言われるものがありまして
刺繍や積み木をやる
これが死ぬほど嫌いで
こんなんなんの意味があるんや
とか毎日思っていました
だからよく重役出勤(遅刻)していた

みんなおやつよー
わー
ガタ

片づけたら順番に――…
一番乗り
…

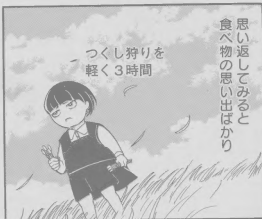
虚ろな私が
めずらしく輝く時

食べてる時

とにかく食べることが
好きで
母
至る所で
食欲を発揮
ハトのフン
ギャアアア

お気に入りのアクセサリーは
あめ玉のネックレス
リアルキャンディ連結

思い返してみると
食べ物の思い出ばかり
つくし狩りを
軽く3時間

なので食に関する
思い出について
話そうと思います

豆まき

その日は園で節分イベントがありました
3歳の子は4つ
4歳の子は5つ食べてね

4つ

これが私にとっては
大変不服でした

本当はもっともっと
お腹いっぱい豆を食べたかったのです

食べた後は庭に出て豆まき
まく用の豆が園児に配られます

絶好のチャンスです

しかし周りを見ると
先生や園児が
豆まきの真っ最中
クルミ大の脳みそしかない
私でもさすがに
ここで食べるのはまずいと
感じました

なので
私は
ガシャ…

振りかぶり
鬼は――
投げる
ふりをして
外!

食べる

振りかぶり

鬼はー

投げるふりをして
外!

食べる

はーい みんな
そろそろ集合よー

……

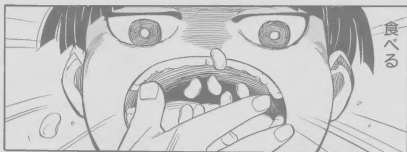
指とタオル

私は小さい頃
指をしゃぶるクセがありました
Florida
ポリポリ

調べてみると指をしゃぶる原因は
・ストレス
・親の関心をひきたい
などの理由があげられますが

私の場合は
おいしいからしゃぶってました
しゃぶしゃぶ

でも親指1本でおいしいと感じるわけではなく

あわせて必須なのはコレ
タオルケットです
このタオルじゃないとダメ

これを
こう持ちます
拡大
そしてタオルケットを
にぎにぎ
しながら
指をしゃぶる
しゃぶ
しゃぶ
現在の私
この時に起こる現象を
大人になった今 考察してみた
うなぎのにおいをかぎながら白飯を食べると
うなぎのにおい
+
米の味
脳内でふたつの感覚が合体し
まるでうな丼を食べているような錯覚におちいると言います

私の場合はこのように
タオルの感触
＋
親指の舌触り
ふたつの感覚がドッキングし
新たなグルメを
生み出していたのでしょう

「どんな味？」と問われると
大変困りますが
「とんでもなくなめらかな
マーガリン」です

これが
1番の
ごちそうやで
本気でそう
思ってました

肺炎で入院する時も
真っ先に
このタオルをリュックに
入れたそうです
母
弁当？

おかげで
この時の私は
出っ歯気味だった
指が前歯に
あたる
わしゃ
わしゃ
今でも少し
出歯

ケーキ

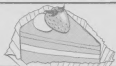
時は小3のクリスマス
母親とケーキを買いに行った時

イチゴシフォン ¥350
ショートケーキ ¥380

……

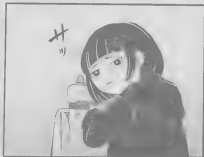
!

ショーケースの横には
見本用のケーキがありました

今思えば生ものを
外に出しておくはずもなく
食用でないことは
確かです
Merry Christmas

しかし脳みそが
カリカリ梅サイズの
私は
「食べてはいけないもの」
とはわかっても
「食べられないもの」
とはわかりませんでした

サッ

すっ

ぱく

この時の味を
なんと例えましょうか

あえて言うなら
「油粘土」です

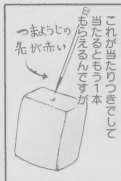
もしくは
ボディーソープ
Body Soap
とにかく油っぽい味

……

帰るよー
は、

知る由もないです
ケーキは自分で持つ

きなこ棒

きなこ棒とは
水あめときな粉を
練り合わせたおかし
食感はもちに近い

大きいきなこ棒はハズレで
小さいきなこ棒は当たり
そこには舌切り雀ルールという鉄の掟があったのです
大人って汚ねえ…!!

私はこれで波に乗り
当たり

また当たり
店員のおばちゃんがその場で引き抜く

この時の快感は今でも忘れられません
あっ

あの時のおばちゃんの顔も
忘れられません
またっ

かいてて悲しくなってきた
〆切厳守
いかがでしたか

他にも
もちまきで死闘を繰り広げたり
うおおおお
大人とガチバトル

夏祭りであの世とこの世を
さまよったり
まっさお
イカ焼きつまって気絶しかける

クリスマスケーキ食べたさに
そろばん教室に6年間通ったり
教室では年に一回クリスマス会がある
色々ありますが
America

最後にいい話をひとつ
ここで好感度をあげておこう

スーパーの試食コーナー
うまい
と思った私は
この感動を兄に伝えようと
ザ
お兄ちゃん
兄
おいしいよこれ!!
兄の
おかわり
お兄ちゃんもホラホラァ
ホラ
他人のフリ
美しき分け与え精神
Coollie
おわり